

2025 年 11 月 17 日

瀬戸市議会議長 富田宗一 様

<請願団体> 障がい者と家族・市民の会

<請願人代表>

瀬戸市

<紹介議員>

伊藤 賢二 長江 秀幸 三宅 聡
浅井 孝美 原 誠 新井 亜由美
島森 茂樹 石神 栄治 中川 昌也

障がい者の経済的負担の軽減を求める請願

《請願趣旨》

障がい者の地域生活における日常生活の支援を目的として、平成 25 年に障害者総合支援法が施行されました。関係施設も増加し、一部の障がい者にとっては就労への機会が増え、生活の質の向上が見受けられました。しかし一方で、法律施行後も多くの障がい者の日常生活は、改善されていない現状が見受けられます。

障害者総合支援法の下で、外出支援やサポーターの普及もあり、社会参加の機会は増えていますが、利用料等が発生し、限られた所得での支出が増加している現状もあります。

就労困難な多くの障がい者は、障害基礎年金（月額約 69,308～86,635 円）で生活しています。施設利用料や諸経費に多くを支出し、生活の質は向上していない実情があります。

特に昨今の物価高騰により、利用施設への生活用品や光熱費の支出が増加し、益々、経済的な負担が増加する傾向にあります。

最近、当会では障がい者本人及び、その家族に対し、アンケートを実施し、幅広く生活の実態を把握する機会を得ました。年収 100 万円以下が 56%、就労で賃金を得ている障がい者は 30% 未満、無収入の障がい者は 3% でありました。

近年、瀬戸市が行っている、障がい者に対する各種の支援策もありますが、当会は多くの関係者から寄せられた声を反映するためには、障がい者に対する経済的な負担の軽減の必要性を強く実感しました。

以上により、次の項目を請願いたします。

《請願事項》

一人ひとりの障がい者の経済的負担を軽減するための継続的な事業を実施してください。

